

# 法覚寺通信

第19号

2025年7月  
真宗大谷派  
若松山 法覚寺  
第6世住職  
吉武 文法(代表役員)  
〒049-4752  
せたな町北檜山区若松479  
電話 0137-85-1455

## 記念旅行申込締切り迫る

～さるすく参加を～

法覚寺開教100年記念事業として2027年3月に実施する京都・会津若松への旅行について、第一次締切りが8月末までと迫っています。最終締切りはまだ先ですが、参加の方はなるべくこのタイミングでお申込みください。第一次締切りをもって行程・内容・金額を決定したいと考えています。

この旅行の見所としては、まずは**本山**参拝です。真宗門徒ならば是非とも一生に一度は参拝しましょう。参拝した方はその広さ・大きさ・荘厳さに感動されます。本山では**帰敬式**を受式できます。帰敬式とは、



舞妓さん

2019年の法覚寺旅行にて。  
2ショット写真も撮れました！

仏弟子としての名前である**法名**をいただき、これからの人生を浄土真宗の教えを抛り所として生きることを誓う儀式です。受式を迷っている方は住職まで相談してください。京都の夜の会食では**芸妓さん**を呼び予定です！(予約が取れた場合)。以前の旅行では舞妓さんをお呼びし大変好評でした。さらに華やかな芸を見せていただけないのでしょうか？



真宗本廟 (東本願寺)

親鸞聖人の御真影(お木像)を安置する御影堂と、阿弥陀如来を安置する阿弥陀堂の両堂形式です。全国から多数の門徒がお参りするため、広大な参詣席を有します。御影堂は実に927畳です。

そして、会津で宿泊する温泉旅館は、2つとも**グレードの高い旅館**のことです。最終泊の「東鳳」はタワー館の宿泊であり、眺めも良きところです。この旅行を通して若松・法覚寺のルーツに触れ、先人が今日まで護持して下さった歴史に感謝し、あらためてお念仏の教えに出会う機縁となることを願います。

# 仏教婦人会研修旅行実施！

今年の法覚寺仏教婦人会研修は、札幌で厳修された北海道教区宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要への参拝旅行として、去る6月22〜23日に実施しました。この法要は2023年にまず本山で勤まり、その後順次、各教区で勤まっています。2023年の本山参拝には法覚寺から3名が参加しましたが、今回の婦人会研修は15名と多数の参加をいただき、みんなで楽し



会場のカナモトホールにて参加者のみなさんと

婦人会では今後も江差別院や近隣地域の寺院・行事への日帰りの参拝旅行など楽しい企画を出来ればと思います♪

くお参りをしてみました。

法要は音楽法要で勤まり、北海道教区有縁の合唱団と出仕僧侶による歌声で実に厳かな雰囲気でした。記念講演は酒井義一氏（東京教区・存明寺）により、教団が過去に加担した差別への反省・傷み、そして念仏者があらゆる人と「御同朋」という平等な関係を見出し、いくつもの世界平和への眼差しが語られたように思います。

住職として感じることは、大きな理想に反対する人は誰もいないと思いますが、世界平和は願っても目の前の嫌いな人とは出会えない、差別反対には同意しても、心の内に浮かんでくる様々な抵抗感や嫌悪感はごまかせない、そういう現実を目を向ける人は少ないのだと思います。浄土真宗の救いはそうした人間としての悲しさを抱え、もがき苦しむ私一人を包むものであるように思います。こうした教えの大切なところはこれからお寺で確かめていきますように。

記念講演の後は「ショッピングモールの

歌姫」こと半崎美子さんのミニライブでした。庄巻の歌声に全て持って行かれた感がありました。

今回の研修旅行で一番感じたのは旅行の醍醐味は「お喋り」だということ。それぞれにバスや部屋で心ゆくまでお喋りを楽しんで様子。日常を離れた環境で、見たもの・感じ



法要の記念冊子など

たものを材料に会話が弾む。それはとても充実した時間なのだと思えます。

## 今号のいとは

覆水 盆に返らず

故人 盆に返らず

ただ南無阿弥陀仏といつでもそばに

住職に学ぶお経の語り口法話